

ながのけん 埋蔵文化財センター速報

平成15年1月31日 発行

遺跡を越えた磨製石斧

整理作業から

茅野市 ^{ひじりいし} 聖石遺跡・^{ながみね} 長峯遺跡

所在地：茅野市北山芹ヶ沢・糸萱

立地：八ヶ岳の裾野に伸びる同じ台地

今回は磨製石斧の接合資料について紹介しましょう。

聖石遺跡・長峯遺跡は八ヶ岳の裾野、角名川沿いに伸びる同じ台地上に隣接し、上流部に長峯遺跡、下流部に聖石遺跡があります。どちらも縄文時代中～後期の大規模な集落跡です。

磨製石斧は木の伐採や加工に使われた石器で、聖石遺跡から56点、長峯遺跡から200点余が出土しました。石材には緑色のきれいな軟玉なんぎょく（透閃石岩）や緑泥石片岩が多く用いられ、その大半が使用によって破損しています。

この破損した個体を形状や石材ごとに分けて、接合作業^{※1}をしたところ、6点の個体が2点ずつ接合しました（写真1）。

いずれも石材は緑泥石片岩で、1・2は基部、3・4は刃部にあたり、5・6は2点で完形とな

りました。（5・6は接合後の長さ21.9cm・重さ196g）

このうち1・2は遺跡間で接合しました。1は聖石遺跡の中期後葉のゴミ捨て場と思われる黒色土層から、2は長峯遺跡のSB157住居跡（中期後葉）から出土し、両者の出土地点は直線で525m離れています（第1図）。

このような「モノの動き」は、同時存在した可能性のある両遺跡の「ヒトの動き」を考える重要なヒントになります。しかし、なぜ不要になった磨製石斧の破片が、こんなに離れたところで見つかったのでしょうか。そこにはどのように当時の「ヒト」が関わっているのでしょうか。まだ答えは見つけれません。

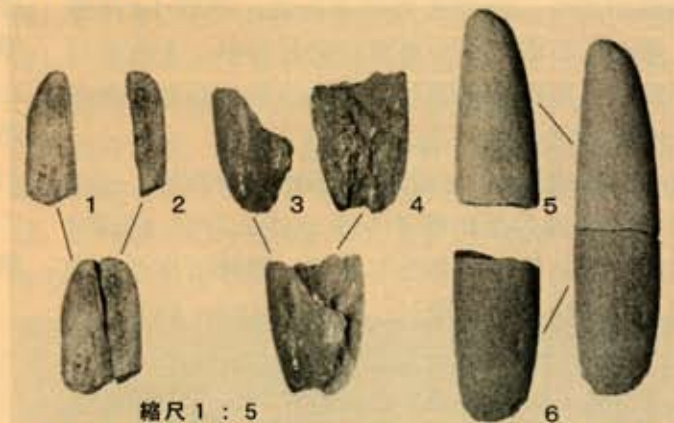


写真1 接合した磨製石斧（1：聖石、2～6：長峯）



第1図 磨製石斧の出土地点（縮尺1：5，500）

※1：壊れている部分を見比べて、くっつくかどうか確認すること

遺跡ニュース

発掘現場から

新たな石器群を発見

県内最古級の旧石器
飯田市竹佐中原遺跡



D地点出土の局部磨製石斧
(長さ16cm)

平成13年、飯田市山本の竹佐中原遺跡から発見された旧石器は、県内でも最古級の石器と考えられ、後期旧石器の初頭からいわゆる前期・中期旧石器時代（今から3万数千年以前）にさかのぼる可能性が高く、注目を集めました。平成14年度は、新たな石器の出土地点が発見され、それらは昨年度の石器群とは異なる特徴をもつ石器であることが確認されました。

竹佐中原遺跡は、長野県飯田市の南西部、三遠南信自動車道の飯田南インターチェンジ（仮称）が造成される場所にあたります。遺跡は東西方向にのびる丘陵上に位置し、標高は610m前後あります。石器を包含する地層は浅く、30cmほどの表土を除去した赤土（ローム層）の中から出土します。この一帯は、丘陵の上なので、土砂があまり堆積しません。火山灰もあまり降り積もりません。さらに農地の整備で表土を削っているなどの要因で古い地層が浅いところでも出てくるようです。

昨年度石器が発見された場所をA地点と呼ぶことにします。A地点の石器群は、原石を粗く打ち欠いてできた石片（剥片という）をそのまま道具として用いています。石器は全体的に大きく、剥

離は粗く、剥片の形もあまり整っていません（写真2）。後期旧石器時代の一般的な石器は、剥片に細かい二次加工を施して形状を整える製作技術を用いますが、A地点の石器にはそのような特徴がほとんど見られません。

今年度、A地点の周辺を調査して新たに石器が発見された場所をB～E地点と呼ぶことにします。B地点では、削器という石器のほかは、小さな石片（碎片）ばかりです。碎片は、石器の形状を整えるときにできるもので、A地点ではほとんど発見されませんでした。B地点ではA地点とは違って、石器製作の細かい加工作業が行われたと考えられます。D地点からは局部磨製石斧が発見されました（左の写真）。この石器は後期旧石器時代の前半期（3万数千年前～2万数千年前）に特徴的に現れます。E地点からは黒曜石製の石器が発見されました。黒曜石は、後期旧石器時代になってからよく使用される石材です。つまり、今年発見されたB・D・E地点の石器は後期旧石器時代の特徴をもっているといえます。

竹佐中原遺跡は、後期旧石器をさかのぼる可能性が高いA地点の石器群と、後期旧石器時代の特徴をもつB～E地点の石器群の二つが、ひとつの丘陵の上に隣り合って残されている、後期旧石器時代の開始期を考える上での重要な資料です。それは後期旧石器時代がどのように始まり、またどこまで遡りうるのかということを探求する上での第一級資料であるといってもいいでしょう。

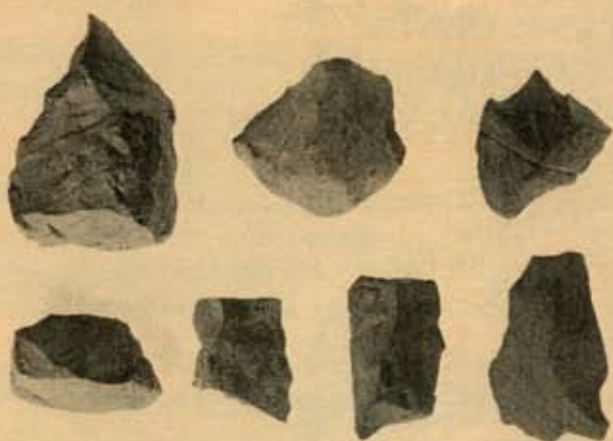


写真2 A地点出土の石器（左上長さ13.2cm）

レキシものさし

竹佐中原 仲町

旧石器時代

縄文時代

△ 1万年前

△ 5,000年前

山の神 千田遺跡 聖石・長峯 箕輪

平安時代の集落から 250箱の土器出土

更埴市八幡 ^{ひがししょう} 東條遺跡

所在地：更埴市八幡字東條

立地：姨捨山系裾の緩斜面上

東條遺跡は、国道18号坂城更埴バイパス線建設に伴い、本年度より本発掘調査が開始された遺跡です。主要地方道長野・上田線を挟んだ東側は、千曲川を氾濫源とする幾時期かの洪水が地形の浸食と洪水砂の堆積をもたらし、さらに東條地籍側からの流水による浸食と土石流の押し出しの影響を受け、その上に現水田は営まれていることが、試掘調査でわかりました。

今年度は、道路西側、現水田及び畑地帯が調査対象となりました。表土層の下に厚く堆積した遺物包含層は、大量の巨礫と遺物が混じる黒色土です。遺物は、縄文時代晩期の土器から中世陶磁器まで見られ、平安時代前期の破片がその大半を占めていました。地元では東條遺跡周辺を「オンダシ」と呼んでいて、この包含層が山からの押し出し土であり、そこが土石流地帯であったことを示しています。この包含層を取り除くと、竪穴住居跡14軒、溝跡10条、掘立柱建物跡数棟、土坑多数を検出しました。



小諸市 ^{のびつけ} 野火附城跡

所在地：小諸市大字御影新田字野火附

立地：浅間山西南麓湧玉川右岸の台地上

野火附城跡は、上信越自動車道から分岐して山梨県方面にのびる中部横断自動車道の建設に伴い発掘調査されました。沢を隔てた対岸に鎌田原遺跡、東側には野火附遺跡があります。

この遺跡は、山林のなかに土塁状の高まりや堀状の窪みが残ることから、地元では「城跡」と考えられていました。

調査により、舌状にのびる段丘先端に2段の削平地をつくり、段丘上は横断する土塁や溝(堀)で区画していることがわかりました。区画内は土坑が散在し、遺物がわずかに出土したのみで、その性格と存続時期の把握が今後の大きな課題です。小諸・佐久地方では、最近、遺構が密集する段丘上の城館跡が調査されていますが、それと対照的な本遺跡は、この地方の城館跡を考える上で、面白い資料になると思われます。

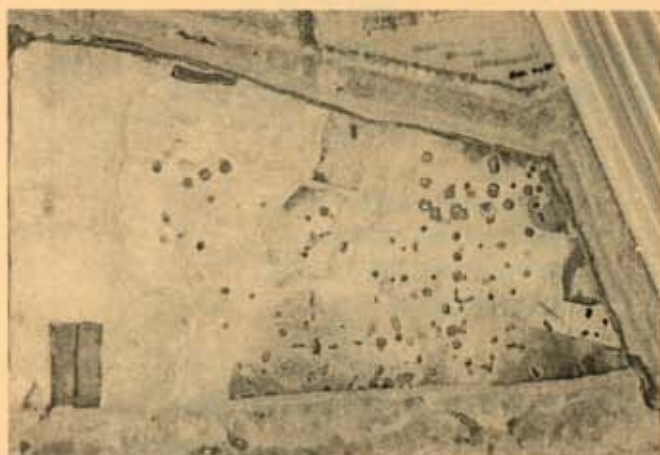


写真3 東條遺跡の柱穴



写真4 土塁と堀の調査風景





上山田町 ちからいしじょうり 力石条里遺跡群

所在地：上山田町上山田字薬師堂他
立地：千曲川の沖積地

弥生時代後期(約1900年前)の集落跡から、直径2.5mほどの井戸が2基発見されました。井戸は住居からやや離れた集落の外れの場所に設けられ、共同の井戸として使われていたと思われます。東西に並んだ2基のうち西側の井戸は、井戸枠の一部が残っていて、丸木を削り抜いて作った丸太削抜き井戸であったことが分かりました。

弥生時代の井戸の構造が分かる出土例は珍しく、中でも丸太削り抜き井戸は、長野県内では榎田遺跡や春山B遺跡に次ぎ、3番目の発見例です。春山B遺跡では井戸の底から沢山



写真5 春山B遺跡の井戸



写真6 力石条里遺跡群の井戸(弥生時代後期)

野帳 このスタイルの速報になり2年目になります。PageMakerというソフトで編集し、カラー写真を多用する様になりました。(残念ながら印刷は白黒ですが・・・)センターの速報がHPに掲載される日も近いのでしょうか?(鶴)

の土器片と小形の壺が出土しました。本遺跡の井戸は調査途中ですが、中からはたくさんの土器片といっしょに木製品や種子などが出土しています。これらの遺物から、井戸の祭祀や廃棄の様子が明らかになってくることが期待されます。

展示会のお知らせ

遺物とパネル展

「埋文センターのお仕事」

【会期】平成15年2月12日(水)～2月21日(金)

【会場】長野県庁1Fロビー

【内容】写真パネルと遺物を展示します。

平成14年度長野県埋蔵文化財センター速報展

「長野県の遺跡発掘2002」

【会期】平成15年3月15日(土)～5月5日(月)

【会場】長野県立歴史館 企画展示室

【内容】平成14年度に、当センターで発掘した資料を中心に展示します。



調査報告会

【日時】4月12日(土)午後1時～3時30分
(受付12:30～)

【会場】長野県立歴史館 講堂

【内容】速報展で展示している遺跡の様子をスライドを交えてお話しします。

発表する遺跡

旧石器時代の竹佐中原遺跡(飯田市)

縄文時代の千田遺跡(豊田村)

弥生時代の力石条里遺跡(上山田町)

古墳時代の鎌田原遺跡(小諸市)

長野県埋蔵文化財センター速報

平成14年第3号

平成15年1月31日

(財)長野県文化振興事業団

長野県埋蔵文化財センター

〒387-0007 更埴市屋代字清水260-6

Tel 026-274-3891

Fax 026-274-3892